

今回は松本城にかかわる伝説のなかの「松姫」伝説についてお尋ねしますのでお答え下さい。

1. 「五社の祭りは雨が降る。姫のうらみで雨が降る」と子守歌にうたわれるほど、この祭りには雨が降ります。さてここに歌われている姫は誰のことでしょうか。次の中から一人選びなさい。

- ① 福姫                      ② 松姫  
③ 篤姫（あつひめ）      ④ 盤長姫（いわながひめ）



2. 1の問題の姫は、松本戸田家の祖の正室として嫁ぎました。この松本戸田家の祖とは誰をさしているのでしょうか。次の中から一人選びなさい。

- ① 戸田光慈（みつちか）      ② 戸田康直              ③ 戸田康長              ④ 戸田忠重

3. 1の問題の姫の神号は何と呼ばれていたのでしょうか。次の中から一つ選びなさい。

- ① 暘谷（ようこく）      ② 洪武（こうぶ）      ③ 片宮（かたみや）      ④ 淑慎（しゅくしん）

4. 戸田家の氏神松本神社は別称・暘谷様と呼ばれています。祭神のうちの一入である□□の祭神名であるが、問題1の姫のことを指していると誤解されています。祭神のうちの一入で暘谷様と呼ばれている人は誰をいうのでしょうか。次の中から一人選びなさい。

- ① 戸田永兼（ながかね）      ② 戸田康長  
③ 戸田康直                      ④ 戸田光重



5. 問題1の姫を生んだ於大（おだい）の方は、三河国刈谷城主・水野忠政の娘です。松平広忠に嫁いで〇〇を生みました。〇〇に入る人物を次の中から一人選びなさい。

- ① 3代将軍徳川家光              ② 2代将軍徳川秀忠              ③ 大御所徳川家康

6. 於大の方は、問題1の姫を再婚相手〇〇との間にもうけました。徳川家康とは父親違いの妹となります。さて再婚相手の〇〇とは誰でしょうか。次の中から一人選びなさい。

- ① 久松俊勝（ひさまつ）      ② 戸田宗光      ③ 戸田宣光

7. 戸田康長と正室との間に生まれた長男は、病弱だったため家督を継いだのは弟でした。長男は悲しみのうちに松本で40歳で亡くなりました。家督を継いだ弟とは誰をいうのでしょうか。次の中から一人選びなさい。

- ① 戸田忠光      ② 戸田光永  
③ 戸田光重      ④ 戸田康直



戸田康長

8. 問題7の弟が戸田家を継いだ頃から、戸田家にはさまざまな不幸が起こりました。弟は、大名になれなかった兄の怨霊（おんりょう）のたたりではないかと恐れ、これを鎮めるために兄を霊社に祀り（まつり）ました。この霊社とは次のうちのどれでしょうか。一つ選びなさい。

- ① 今宮      ② 暘谷      ③ 洪武      ④ 片宮

9. 問題8のさまざまなたたりは、いつの頃からか、兄のたたりは実は我が子が大名になれなかった悔しい思いが悪霊となって引き起こしたと言われるようになりました。こうして〇〇〇〇だと信じられるようになったのです。次の中でどう信じられたのか、あうものを一つ選びなさい。

- ① 子の神号暘谷様が、母の姫のことだと  
② 母の姫の神号淑慎が、子の神号のことだと  
③ 父の神号洪武が、子の神号のことだと

10. 姫にかかわる伝説は、さまざまな風評となって現在でも私たちの心の中に入り込んできます。次の中で風評となっていないものはどれでしょうか。一つ選びなさい。

- ① 徳川將軍の妹である姫は、あまり器量がよくなかった  
② そのため將軍が心配して、嫁としてもらいうけたら10万石を与えるとして、大名を集めて婿選びをした。白羽の矢が立ったのは松本藩主である夫であった  
③ 姫は夫との折り合いが悪く堀に身を投じた。そのたたりだとやきもちを焼いて、松本神社にカップルでお参りすると必ず別れさせてしまう  
④ 姫はふくよかで気品よく、24歳の若さで亡くなるまで、松本には一度も来なかった